

# 民主青年新聞

●ホームページ [www.dylj.or.jp](http://www.dylj.or.jp) ●Eメール [minsins@dylj.or.jp](mailto:minsins@dylj.or.jp)

見どころ

- 被爆地で核兵器廃絶の思い踏みにじる G7広島サミット (3面)
- 消費税って本当に必要? (6、7面)
- 平和を創り、安全を守るとは (10、11面)

## 外交による前向きな関係打開を



▲岸田文雄首相(右)に申し入れる(左へ)志位和夫委員長、小池晃書記局長、田村智子政策委員長、穀田恵二国対委員長(3月30日、国会内、しんぶん赤旗提供)

▶呉江浩中国大使(右)と会談する志位和夫委員長(5月4日、都内、しんぶん赤旗提供)

日本共産党の志位和夫委員長は3月30日、「日中両国関係の前向きな打開のために」と題する提言を発表しました。日本と中国の間に存在する緊張・対立に不安を持つ国民も少なくない中、「軍事対軍事」の悪循環ではなく外交努力によって打開できる道を示したことに、注目と期待が寄せられています。街頭の青年と共に日中関係について考えます。(太田良真記者)



## 日本共産党の「提言」

志位和夫委員長は「日中両国関係の前向きな打開のために」日本共産党の提言(以下、「提言」)を3月30日に発表し、同日、「提言」について、日中両政府からの好意的な受け止めが期待されています。

「提言」の内容は、日中両国関係は、双方にとって最も重要な二国間関係の一つである一方で、日中間にさまざまな紛争・緊張・対立が存在していることを指摘し、互いに脅威を感ずる不安を軽減し、互いに協力のパートナーであり、互いに脅威とならないことを確認した。双方は、互いの平和的な発展を支持することを改めて表明し、平和的な発展を堅持する日本と中国が、アジアや世界に大きなチャンスと利益をもたらすとの確信を共有した。

2008年5月 『『戦略的互惠関係』の包括的推進に関する日中共同声明』

2014年11月 「日中関係の改善に向けた話し合い」

2023年5月 『『東アジアサミット』(EAS)を発展させた「ASEANインド太平洋構想」(AOIP)に、日中両国政府が賛同していること。』

「互いに脅威にならない」ために

### 「提言」で指摘された日中の「3つの一致点」

「2一致点を見つけていくのが外交」

日中で行われた世論調査では、現在、日中両国で相手が行っているし、警戒は高まっています。中国は信用を失っており、互いに脅威を感ずる不安を軽減し、互いに協力のパートナーであり、互いに脅威とならないことを確認した。双方は、互いの平和的な発展を支持することを改めて表明し、平和的な発展を堅持する日本と中国が、アジアや世界に大きなチャンスと利益をもたらすとの確信を共有した。

大使からは、日中関係の厳格な参考にしていくと表明し、互いに脅威とならないことを確認した。双方は、互いの平和的な発展を支持することを改めて表明し、平和的な発展を堅持する日本と中国が、アジアや世界に大きなチャンスと利益をもたらすとの確信を共有した。

2008年5月 『『戦略的互惠関係』の包括的推進に関する日中共同声明』

2014年11月 「日中関係の改善に向けた話し合い」

2023年5月 『『東アジアサミット』(EAS)を発展させた「ASEANインド太平洋構想」(AOIP)に、日中両国政府が賛同していること。』

日中で行われた世論調査では、現在、日中両国で相手が行っているし、警戒は高まっています。中国は信用を失っており、互いに脅威を感ずる不安を軽減し、互いに協力のパートナーであり、互いに脅威とならないことを確認した。双方は、互いの平和的な発展を支持することを改めて表明し、平和的な発展を堅持する日本と中国が、アジアや世界に大きなチャンスと利益をもたらすとの確信を共有した。

2008年5月 『『戦略的互惠関係』の包括的推進に関する日中共同声明』

2014年11月 「日中関係の改善に向けた話し合い」

2023年5月 『『東アジアサミット』(EAS)を発展させた「ASEANインド太平洋構想」(AOIP)に、日中両国政府が賛同していること。』